

# 見守りネットワーク 寸劇第2弾 台本

## 『病院との上手なつき合い方 ～ 今から備えておけること 』

【総合司会】〇〇さん

【登場人物と配役】

- ① 司会進行 . . . . Mさん 松本さん
- ② 大森歌子さん . . . . Sさん
- ③ 蒲田映子さん . . . . Aさん
- ④ 医師 . . . . Yさん
- ⑤ 看護師 . . . . Bさん
- ⑥ MSW . . . . Cさん
- ⑦ 地域包括支援センター . . . . Tさん

【導入】

司会) 突然ですが、急病と言うのはいつも突然訪れます。前触れも無く、時に自分の身に、時に近しい人の身に起こってしまうこともあります。申し遅れました。私、松本と申します。本日ご来場の皆様を「病院との上手な付き合い方～ 今から備えておけること」をテーマに一緒に考えたいと思います。

(司会の後、直ぐ始まる)

【シーン1】救急室

ピーポーピーポーピーポーピーポーピーポー

<医師・看護師を前に大森・蒲田さんが続きピーポーと叫び登場し立ち位置につく>

大森さんは横になりソファへ、蒲田さんは大森さんの脇、看護師さんはマイク係。

大森さん) う～ん、う～ん、う～ん

蒲田さん) しっかりして歌ちゃん、大丈夫？歌ちゃん！歌ちゃん!!! (大きな声で、しがみつくように)

大森さん) う～ん、う～ん。

医師) ご家族ですか？

蒲田さん) いいえ、友人です。(首を振る)

医師) ご家族の連絡先とかは知りませんか？

蒲田さん) ああ～、福岡に甥がいるって前に言っていたような、福島かな . . . . . , いやあ覚えてないです。大森さん携帯電話なんて持っていませんし。それよりも、大森さんは大丈夫ですか？

医師) 詳しいことはね、個人情報ですので、ご友人にはお教えできないのですよ。どなたか家族に話したいのですが、誰か大森さんの家族の事を知っている人はいませんか？

蒲田さん) そ、そういわれても . . . . . 。歌ちゃん大丈夫なのですか？

医師) う～ん、詳しくはお教えできません。ですが、直ぐに手術をしないと . . . . . 。家族にね、連絡がつかなくなら急いで連絡を取りたいのですがね。分らないなら仕方ありませんね。

あっ、かかりつけのお医者さんは知っていますか？

蒲田さん) . . . . . 。(首をふる)

医師) そうですね . . . . . (場を去る)

蒲田さん) 先生!!!!!! (叫ぶ)

<場面ストップし登場人物はそのまま舞台に残る>

司会) いや～、何だか急に始まって急に場面が止まりましたね。ちょっと振り返って見ましょうね。

(このあと司会が動いてインタビューしていく)

## 【シーン2】回想

司会) 蒲田さん、演技中すみません。改めて聞きますがお名前は？それと失礼ですが年齢は？

蒲田さん) 蒲田映子、78歳です。

司会) あそこで寝ているのは誰ですか？

蒲田さん) 大森さん、大森歌子さん。私のお友達です。

司会) どうしちゃったのですか？急に病院に運ばれてきたようですが？

蒲田さん) (早口で) そう、私もびっくりしちゃって、いや本当にどうしようかと思って、だって突然でしょ。まさかこんなことになるなんて～。急に……、ねえ～～。

司会) 蒲田さん、落ち着いて！ちゃんと聞いているから分るように話してくださいませ？

蒲田さん) ああ、いや大森さんとは良く一緒にお風呂に行く仲なのだけど、今日も平和島クアハウスに遊びに行こうって約束して大森駅で待ち合わせていたって訳。そしたらあんた、顔見せるなり、耳がおかしいって言うじゃない。すぐにしゃがみ込んだかと思ったら、ガクッときて倒れこんじゃって、もうビックリ。まわりの人が救急車呼んでくれてね、私も飛び乗ってきたって訳。

司会) それは大変でしたね？先生が言っていました、……ご家族は？

蒲田さん) 大森さんはもうずいぶんと一人暮らしだし、確か結婚もしてなかったって話だけど……。甥が福岡だか福島にいるって聞いたことはあるけど、良く覚えてないわ！私どうしたらいいのでしょうか？

司会) 心配ですね。先生にも聞いてみましょうね。ああ～、蒲田さん、元に戻っていて。

司会) 先生、こんにちは。こっち来て下さい。で、先生何科の先生？

医師) 私？脳神経外科の医者です。

司会) 運ばれた患者さんはどうです？先生もお困りな様子でしたが？

医師) そ、そ、そ、そうなのです。ここだけの話、直ぐにでも手術しないと命に関わるのです。くも膜下出血でしょ。すぐに家族には知らせて、その手術の同意や他の同意書も欲しいんですがね、分らないとなると……。いや困ったなあ。しょうがないですね、困ったな～。今後何かあった時の事もありますし、先々のこともありますね。ご友人の方に一任という訳にもいかないのですよ。

司会) そうですか、大森さんの家族に今直ぐ連絡が必要なのですね。だけど、家族の連絡先がわからない。連絡先を知っている人もいない。それじゃ、困りますね。どうしましょう。

医師) ど、どうにかしてください！！！！

司会) どうにかしてと言われても……。弱りましたね。先生、どうも、元に戻っていて下さい。

司会) ねえ～大森さん、ちょっとこっち来て。お名前とお歳は？

大森さん) 大森歌子、83歳です。このあたしがこんなことになるなんて……。入院なんかしたことないのよ～、本当に。そりゃ、独り暮らしだけど健康には気を使ってるのよ、青汁！

司会) 青汁……。そうですか。健康に気をつけている大森さん、今あなたの身が大変なことになっているみたいよ。先生も言っていたけど家族は？

大森さん) 博多に甥が居るわ！何かあると駆けつけてくれる優しい子よ。もちろん連絡先は知っているわよ、年賀状に書いてあるもの。

司会) 何処に置いてあるの？

大森さん) 筆筒の中よ。持ち歩かないでしょ～普通、無くしたら困るでしょうよ？

司会) そうですか、分かりました。大森さん本当は福岡に家族はいらっしゃるのですね。でも、どうやらくも膜下出血起こしちゃって、とても喋れない。そう、伝えたくても伝えられない。いや、困りましたね。

う～ん、大森さんも元に戻っていて下さいね。そうそう、病人らしくしてして下さい。

大森さん) う～ん。

司会) さて、皆さん。どうやら大森さんと蒲田さんは親しいお友達で、この日平和島クアハウスに行くために駅で待ち合わせをしていたのですね。そしたら大森さんが急に倒れこんじゃって救急車で病院に運ばれました。先生の話では緊急で手術が必要になったようです。でも家族の連絡先が分らないって脳神経外科の先生も友人の蒲田さんも偉く困っていましたね。ここだけの話、本当は福岡に甥の方がいるそうです。でもそのことは大森さんの記憶と筆筒の中の年賀状でしかわかりません。誰も伝えられません。さて、その後この話の続きはどうなったのでしょうか？

あらら、場面が変わって、翌日になったみたい。

## 場面変更

### 【シーン3】翌日

<トントントン>

<どうぞ～>

蒲田さん) こんにちは、蒲田と申します。大森歌子さんの友人の。看護師さんに病院のソーシャルワーカー？のところで相談してみてもはどうでしょうかと勧められて来たのですが？

MSW) 蒲田さんですね。私は、ソーシャルワーカー、病院の相談員の山名と申します。蒲田さん色々手伝ってくださって本当にありがとうございます。これから大森さんが安心して入院生活が送れるように、お手伝いをさせていただきます。大森さんについて蒲田さんが知っておられる事を教えてもらえませんか？その上で、良い策を考えたいと思っていますのです。

蒲田さん) 良かった～！実はね、手術の間にね、悪いと思ったけど大森さんの鞆の中を何度も見てみたのよ～。そしたらこんなメモがあったのよ。福岡って書いてある。甥の方かしら～。

MSW) (一緒にのぞき込んで) まあ、もしかしたら家族の連絡先かも。蒲田さん、これから一緒に電話してみましようか？

蒲田さん) あらあ～そうしてもらえると！実はね、鞆に家の鍵も入っていたのだけど1人で入るわけいけないじゃない？どうしようか迷っていたのよ～。

MSW) そうですね、大森さんの自宅に蒲田さん1人で入るのも気が引けますよね。親しいといってもね～。メモにある電話番号に連絡してみましよう？

蒲田) ええ！

MSW) (電話をかけるしぐさで) もしもし、大森さんのお宅ですか？こちら病院のソーシャルワーカーの山名と申します。突然のお電話で申し訳ありません。実はあの・・・失礼ですが、ご家族に大森歌子さんという方はいらっしやいませんか？昨日、救急車で運ばれてまして・・・。

えっ！そうですか！甥の方？まあ！それはよかった！ご家族を探していたのです。

蒲田さん) よかった！！(MSWと蒲田さん、手を取りあって喜ぶ。)

スタッフ一同) よかった！パチパチパチ

拍手！！

司会) さて、救急車で病院に運ばれたその翌日、蒲田さんはどうやら病院のソーシャルワーカーの所へ行って相談されたようです。蒲田さんが見つけた大森さんの鞆の中のメモが手がかりになったようです。蒲田さんのいるところで病院から電話をしてみたところ、どうやら家族と連絡がついたようです。大森さんが話してた甥の方の連絡先だったようです。年賀状だけじゃなかったんですね、大森さん持ち歩いてた。後日、福岡に住む甥が病院に来てくれたそうですよ。

そうそう、その後大きな後遺症も無く、蒲田さんリハビリ病棟でリハビリに一生懸命取り組んだ甲斐あって、また自宅に戻られたようです。良かったですね。

あれ、また舞台が変わったような・・・。あれ、半年後？

## 半年後

<この間に場面設定をさわやかサポート>

## 【シーン4】 さやわかサポート

大森さん) ちょっと、何処に行くのよ～。杖をもたないでよ～。

蒲田さん) 歌ちゃん、杖使わなくても歩けるでしょ？

地域包括) あら、蒲田さん、こんにちは。

蒲田さん) みまーものキーホルダー、この人にも話してくださいよ。面倒臭がりだからねえ～。

ほら、この前話したでしょ、ほら、これよ～。この前あなた突然倒れて、ほら大変だったでしょ、私もあの後から怖くて外出しなくなったのよ。でも、今は安心よ、ほらこれ！

大森さん) 登録っていろいろやっかいなのでしょ～。

地域包括) 大森さん？ですね？蒲田さんから伺っていますよ！キーホルダーの登録手続きは簡単です。申込書に必要な所を記入頂ければ、SOSみま～もキーホルダーをお渡しします。後は外出のときに持ち歩く物にこのキーホルダーをつけてください。

大森さん) 外出のときに持ち歩くもの……

地域包括) 家の鍵とか、鞆とか、お財布とか。

大森さん) 家の鍵？鞆？お財布？

蒲田さん) 歌ちゃん、最近杖をもって外に出ているでしょ？杖にしたら？

大森さん) そう～ね～。

地域包括) どうですか？登録手続き、いかがですか？

蒲田さん) せっかくなんだからやっていきなさいよ～！

大森さん) せっかくだもんね、また来るのも面倒だし、

地域包括) それでは、登録用紙に順番に書いてください。

大森さん) 名前……、大森歌子。生年月日はひ・み・つ。＜間を開けて……＞

冗談よ～、冗談。緊急連絡先って、歌ちゃんのところでいいの？

蒲田さん) いいけど、私は2番目にしてよ。あの子のところを一番にしてね、可愛そうでしょ？

大森さん) そう～ね～。かかりつけ？手術してくれた先生にしようかしら？

蒲田さん) や～ね～、あなた今も通院しているでしょ？

大森さん) 薬ね～。良く覚えてないわ～。

蒲田さん) 歌ちゃん、お薬手帳持ってるじゃないの。いつもかばんに入れてるでしょ。

大森さん) そうだったわ！薬手帳……、あった！えっと血圧の薬と。これでいいかしら？

蒲田さん) やればできるじゃない、ちゃんと書けているわよ！ねえ～

地域包括) 大森さん、是で大丈夫ですよ。

大森さん) ところで、是をつけたらどうして安心なのかしら～。

地域包括) 大森さん、半年前、大森駅前倒れて病院に運ばれた時があったでしょ？その時ご自分で話す事ができなくなって、大森さんも蒲田さんも病院の方もきつとお困りだったと思いますよ。このキーホルダーを持っていて、この連絡先に気付かれた方が連絡して下されば、あなたが誰なのか？家族の連絡先？かかりつけの病院？等など必要な情報をあなたに替わって私たち「さやわかサポート」から伝える事ができるので

大森さん) 半年前、倒れたときは皆さんに迷惑かけちゃってね～。そうね、外出のときだわね～。明日からこれ付けて出かけることにするわ！

蒲田さん) やだ歌ちゃん、今つければ良いんじゃないの！

大森さん) ホホホホホホ、やだ、その通りね～。

ワハハハ……！！

**司会)** さてさて、皆さん。どうやら大森さんが倒れて病院に搬送されてから半年後の話しになっていましたね。蒲田さんは大森さんを誘って最寄のさわやかサポートにいらしたようです。そこで何やら蒲田さん大森さんに勧めていましたね。もう一寸詳しく聞いてみましょう。

**司会)** 蒲田さん、大森さんに何か勧めていましたね？

**蒲田さん)** お友達からSOSみま～もキーホルダーの事を聞いて私登録したのですよ。大森さん1人暮らしだし、半年前に外で大変なこともあったから、勧めてみたんですよ。私、上手く説明できないから連れてきちゃった。

**司会)** 大森さん、大変なご病気の後だけど元気そうね。良かった。手続きわかった？

**大森さん)** 良いものを勧めてくれてはいるっていうのは分かるんだけど、手続きって聞くとつい面倒って思っちゃうのよね～。ところで、どうして緊急の連絡先なんて聞くのかしら～、役人さんだったら調べれば分かるんじゃないの？救急車の人には公務員でしょ？警察は調べてくれないの？

**司会)** えっと、この辺りはどうなのでしょう？

**包括)** さわやかサポートの田口です。救急隊員だから、警察官だから、公務員だからといって皆さんの様々な情報が分かるという仕組みはありません。ご本人であっても身分証明が無ければ本人かどうかも分かりませんよね。まして、住まいや連絡先、家族の連絡先や通院先というような情報は直ぐに調べようもないです。

**司会)** というと、身分証明書を持ち歩けばいいですか？

**包括)** 写真付きの身分証明書であれば本人確認ができますよね？しかし、身分証明書には家族の連絡先までは載せてないですよ。落としてしまって、誰かの手に渡るというのも避けたいですね。

そこでこの「SOSみま～もキーホルダー登録システム」が提案されたのですよ。

**蒲田さん)** そうよ、ここに電話すれば書いた事を伝えてくれるのよ、ねえ～。私も忘れたら連絡しようかしら、ホホホホホホ、やだぁ冗談よ。

**大森さん)** かよってる病院を変えたらどうすれば良いの？

**包括)** 登録の内容に変更がある場合その都度教えてください。できる限りで結構です。皆さんとこのみま～もキーホルダーを通じて、少しでも顔見知りになれたり、また、皆さんがお困りのときにこのさわやかサポートを思い出して下さい、というようなつながりがもてれば嬉しいです。

**司会)** 大森さん、蒲田さん、そして会場の皆さん。劇中に話されていたSOSみま～も登録システム、ご理解いただけましたか？今日は「病院との上手い付き合い方」というテーマですので、このシステムが病院との上手い付き合いに関わるのか、また、それ以外でも何か耳寄りな情報があるのかなど、本日出演の方々に聞いてみましょう。

### <劇参加者が並ぶ>

**司会)** 早速ですが、病院の方、ソーシャルワーカーの山名さん。

**MSW)** 劇の最初にもありましたが、救急車で運ばれてこられる方の中には、怪我や病気で意識が無い、朦朧とした状態の方もいらっしゃいます。何処のどなたで、何か持病はあるのか？この人をよく知ってる人はいないのか？などなど知る術がなくて困ってしまいます。警察に聞いてもすぐには分からないものなのです。何処のどなたで、普段どのように生活していて、普段からどのような考えを持っているのか、という情報はとっても重要な事です。

**司会)** そうですね、劇の中で何度も出てきました。家族は？家族は？って。普段から家族の連絡先が分かるようにしている事は、急な事態の備えになりますね。

**MSW)** もし、かかりつけの病院と連絡が取れれば、病院からかかりつけの先生に連絡し、病歴や治療中の病気、飲まれている薬のこと等、医療情報が得られます。病院での今後の治療方針を決めるうえで重要な情報となります。

**司会)** 持病であったり、過去の治療歴、現在の状態等、確かに重要そうですね。

**MSW)** 家族に連絡ができれば、入院される事をいち早く伝えられます。また、入院に必要な手助けをあなたに代わってお願いすることができます。

司会) ソーシャルワーカー山名さん、ありがとうございます。普段の時の病院との付き合い方、というより、自分で喋ったり行動したり、つまり自由が利かなく立った時に備えることが必要ということですね。そのようなときは、病院としてはなすすべが無く、本人もどうしようもない。

万が一に今から備えておくことがより良い病院との付き合い方ということですね。よく分かりました。

他に、備えておくの良いことはありますか？

看護師さん) 急な入院になっても良いように入院セットを作っておくとか？

司会) 具体的には？

看護師) 揃えるものは洗面用具（コップ、歯ブラシ）、お箸やスプーン、下着類や寝巻きなどでしょうか？

司会) どの病院も一緒ですか？

看護師) 大部分は一緒です。ですが、かかりつけの病院がある方はあらかじめ入院時に必要なものを聞いておかれても良いかもしれません。

司会) 他の方では？

蒲田さん) 緊急時の連絡先！

司会) そうですね、緊急の連絡先というのは誰にすれば良いのでしょうか？

医師) 患者さんのことを良く知っていて、患者さんの意思を代弁できる方が良いです。それと連絡が取れる事も大事です。治療方針など大事な話をさせて頂きたい。

看護師) 患者さんの事で色々とお世話をお願いできる人もおられると助かりますね。

司会) そうですか。家族に、それと近い方といったところでしょうか。他にありますか？

看護師) それと・・・、言い出し難いのですが、当座のお金！ティッシュとか色々必要になるのですよ。入院していると。

司会) う～ん。言い難いでしょうが如何ほど用意しておけば当座は大丈夫でしょうか？

看護師) <指出して> 1万円。ううん2万円。あまり高額でも困りますし。入院のセットがあれば1万円程度でよいかもしれません。

司会) ありがとうございます。かなり、内情というか、現実的な話でしたね。

おさらいですが、入院に備えた荷物を用意しておくことや、緊急の際の連絡先を控えておくことなどの対処が提案されましたね。また、それらについてかかりつけの病院で事前に確認したり伝えておいたりすることが備えになるということでしょうか。また、それら一つではなくいくつも備えておかれるといざという時に役立つのではないのでしょうか？それば結果的に病院と上手い付き合い方につながる訳ですね。

さて、会場の皆様、劇を通じてですが、病院との上手い付き合い方というのは、普段からいざというときに備える、万が一のときに備えることという事でした。

昨年6月にお越し頂いた方も本日この会場にお越しただいてることと思います。昨年提案で本日劇中にお示した「SOSみまもキーホルダー登録システム」が一部の地域で始まり、現在も地域の拡大や登録者が増えているとの事です。この後は、休憩を挟みまして、このシステムの現状と今後についてさわやかサポート入新井 澤登所長にバトンタッチしお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

## 一同礼

総合司会にバトンタッチをしキャストの紹介（自己）をする。